※令和３年度以前入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　外国語科

教科	科目	教材名・副教材名	単位数	必要Ｓ出席数
外国語	英語表現Ⅰ	NEW FAVORITE English Expression Ⅰ　（東京書籍） ・同準拠の学習書	２	８

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	６枚	２枚	２枚	２枚
スクーリング	１８回	７回	６回	５回
テスト	２回	あり	あり	なし

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語ⅠまたはＣ英語Ⅰを、履修・修得した人を対象とする科目です。初めは、短く、やさしい文を書いていきます。また、単元ごとに、英語で自己表現をする場面を設けます。間違いを恐れず、英語で表現する楽しさをぜひ知ってもらいたいです。アドバイスとしては、その日に学んだ表現を復唱するなどして、自分のものになるようスクーリング以外でも練習してください。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【２年次】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・アルファベットが発音されるのを聞いてどの文字であるかを聞き取ることができる。 ・ゆっくりと、またはっきりと発音されれば身近で基本的	・基本的な日常の挨拶や季節の挨拶の文を読んで理解することができる。 ・基本的で具体的な単語や句の意味を理解することができる。	・アルファベットを正確に発音することができる。 ・基本的な単語を母語話者にも理解してもらえるように適切に発音することができる。	・アルファベットを正確に発音することができる。 ・基本的な単語を母語話者にも理解してもらえるように適切に発音することができる。	・ブロック体のアルファベットを大文字・小文字を区別して順番通り書くことができる。 ・基本的な単語や句を正確に書くことができる。

３ 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	・観察（スクーリング） ・記述の点検（レポート）	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査

- 学習指導要領（第１章第７款の４）に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

範囲	単元 配当時間	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
1 範囲	Lesson１ 文構造① Lesson２ 文構造② Lesson３ 時制① Lesson４ 時制② Lesson５ 完了形① Lesson６ 完了形② Lesson７ 助動詞① (7 回)	各レッスンにおいて本文があり、その中のキーセンテンスを理解する。基本的な文構造を理解したうえで、自分自身のことを表現していけるよう、問題構成等がされている。また各レッスンの要所で、役に立つ表現や知っておくと便利なコラムが載っており、英語を表現する本来の楽しさをより高め、関心を持たせる内容である。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			・自分について、何を書けば、よい文になるか考えることができる。	・スクーリングにおいて、自己紹介を作ってみる。	・役立つ表現を繰り返し練習して慣れようと努めている。	・レポート提出 ・定期考査
			「外国語表現の能力」			
			・自分の名前、年齢、趣味などが表現できる。	・スクーリング、レポートを通じ、表現する場を設ける。	・定型文の意味を理解したうえで、すんなりと表現できる。	・レポート提出 ・定期考査
			「外国語理解の能力」			
			・日本語とは異なる、英語の文型を理解できる。	・本文を読んで内容を理解する。	・本文中の要点を理解できる。	・レポート提出 ・定期考査
			「言語や文化についての知識・理解」			
			・今後、外国人に対して、自己紹介をする機会が多くなる、ということが理解できる。	・本文を読んで内容を理解する。	・例示する表現の使い方を理解できる。	・レポート提出 ・定期考査
2 範囲	Lesson8 助動詞(2) Lesson９ 受け身 Lesson10 to 不定詞 Lesson11 動名詞 Lesson12 分詞① Lesson13 分詞② （6 回）	１範囲と同様、各レッスンにおいて本文があり、その中のキーセンテンスを理解する。基本的な文構造を理解したうえで、自分自身のことを表現していけるよう、問題構成等がされている。また各レッスンの要所で、役に立つ表現や知っておくと便利なコラムが載っており、英語を表現する本来の楽しさをより高め、関心を持たせる内容である。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			・日本文化、また外国文化について興味・関心を持つことができる。	・スクーリング、レポートを通じ、あるテーマについて自分の意見、感想を持つ。	・スクーリング中、積極的にし、レポートも正答率が高い。	・レポート提出
			「外国語表現の能力」			
			・日本文化について説明ができ、また外国文化についても説明ができる。	・スクーリング、レポートを通じ、表現する場を設ける。	・定型文の意味を理解したうえで、すんなりと表現できる。	・レポート提出
			「外国語理解の能力」			
			・本文の内容をなるべく辞書を使わずに理解できる。	・本文を読んで内容を理解する。	・スクーリング中、積極的にし、レポートも正答率が高い。	・レポート提出
			「言語や文化についての知識・理解」			
			・日本文化と外国文化の違いに興味を持ち、また互いのそれを尊重することができる	・本文を読んで内容を理解する。	・本文中の要点を理解できる。	・レポート提出
3 範囲	Lesson14 関係代名詞 Lesson17 比較① Lesson18 比較② Lesson19 仮定法① Lesson20 仮定法② (5 回)	２範囲と同様、各レッスンにおいて本文があり、その中のキーセンテンスを理解する。基本的な文構造を理解したうえで、自分自身のことを表現していけるよう、問題構成等がされている。また各レッスンの要所で、役に立つ表現や知っておくと便利なコラムが載っており、英語を表現する本来の楽しさをより高め、関心を持たせる内容である。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			・日本文化、また外国文化についてより興味・関心を持つことができる。	・スクーリング、レポートを通じ、表現する場を設ける。	・スクーリング中、積極的にし、レポートも正答率が高い。	・レポート提出
			「外国語表現の能力」			
			・本文内容を読み、キーセンテンスの意味を理解し、その使いどころが分かる。	・スクーリング、レポートを通じ、表現する場を設ける。	・定型文の意味を理解したうえで、すんなりと表現できる。	・レポート提出
			「外国語理解の能力」			
			・本文内容を辞書を見ずに概ね理解できる。	・本文を読んで内容を理解する。	・本文中の要点を理解できる。	・レポート提出
			「言語や文化についての知識・理解」			
			・自分自身のことや自国の文化を理解し、それらを相手に伝えようとする気持ちも持つことができる。	・本文を読んで内容を理解する。	・言語や文化に関する単語を見て内容が理解できている。	・レポート提出